



いくさか議会だより No.174

令和 8 年 6 月定例会号 2026.7.23 発行

表紙について
15 ページ

小立野区の花桃と山桃

久保田茂樹さん

生坂村のお花見スポットの一つとして
皆さんに喜んでもらえたらうれしい
ですね。

赤羽 勲さん

車でも来られる場所なので、花の季節
にはぜひ見に来てほしいです。

議会改革検討会特集……………P2
議会の流れ……………P3
総務建経常任委員会報告……………P4
こんなことが決まりました：総務…P5

社会文教常任委員会報告……………P6
こんなことが決まりました：社文…P7
村政そこが知りたい！！……………P10-13
竹林整備特集……………P16

議会改革検討会が発足しました！ 議会改革でどう変わる？

座長：山本 吉人

もっと **身近**に、もっと **見える** 議会へ

生坂村議会では、住民の皆さんにとって
より身近で、開かれた議会を目指して
議会改革に取り組みます。

議長から **議会改革検討会**で検討してほしいと投げかけた、3つのテーマをご紹介します

議会改革で改善を目指します！

住民から聞こえてくる声で見た課題

- ☐ 議会の活動がよく分からない
- ☐ 議員が何をしてるか見えない
- ☐ 議員と意見交流する機会がない



1 議会の「見える化」

情報をわかりやすく発信します

今まで

- ・議会だより中心の情報発信
- ・会議の内容が伝わりにくい
- ・議員の活動が見えにくい

これから

- ・議会だよりをわかりやすく改善
- ・SNSやホームページで情報発信
- ・議員活動を積極的に紹介

2 議員の報酬UPの効果

55才以下30万円、56才以上18万円の
議員報酬を一律21万5000円に

今まで

議員のなり手不足が全国的な課題となっており、55才以下の報酬を上げたが、住民の声等受け改正した

これから

報酬をベースアップをした効果を検証し、より
・幅広い世代が立候補しやすく
・議員活動の充実につながるよう、話し合いを進める

3 住民参加の強化

住民の声を村政へ
届けます

- ・山彦（住民との懇談の場）の開催
- ・報告会の開催
等を検討

住民の皆さんの声を政策に反映できる議会を目指します。

生坂村のことを
一緒に考えま
しょう！

「議会改革」で期待されること

～住民にとってのメリット～

議会が何をしている
か分かる

情報が見やすくなり、議会の活動が身近に。

意見を伝えやすくなる

意見交換の場が増え、あなたの声が村政に届きます。

若い世代も参加しやすくなる

多様な人が関わることで、より良い村づくりへ。

議会・村政への関心が高まる

みんなで村の未来を考え、より良い生坂村へ。

こうなっていた！議会の流れ

令和7年度 を例に、議会の1年間の流れを見てみましょう！

議会には通年制（いつでも必要な時に開く）と会期制（定例会・臨時会方式）があり、生坂村議会は会期制です。6月、9月、12月、3月に定例会があり、必要に応じて臨時議会が招集されます。

行政側

予算執行：3月議会で認められた当初予算に沿って、予算を執行します
収支に変更があれば補正予算を組みます

村政懇談会：住民の意見や要望を聴き取ります

前年度収支確定：前年度の予算が実際にどう執行されたか、繰越明許費なども含め確定し議会に上程します

前年度決算書作成：前年度に予算をどのように使ったか、決算書を作成します



地区要望：各区から修繕箇所等の要望を受け、現地踏査し緊急性・必要性に応じて予算化の是非を決めます

予算編成方針が示されます：村長が次年度の予算を立てる方針を示します
各課から予算要求：村長の予算編成方針を見て、各課から次年度の予算が要求されます

各事業の行政委員会：当年度及び次年度の事業について協議します

総務課査定→村長査定：要求された予算の必要性等を査定します

予算調整会議→予算編成：会議を経て、次年度予算が編成されます

議会側

議員選挙：令和7年は4年に1度の議員選挙がありました

臨時議会：議長・副議長、議員がどの委員会に所属するか等を決めました

6月定例会：前年度の予算で収入・支出が確定したのについて、また、補正予算について主に審議します

臨時議会：山村活性化対策事業補助金が国から認められ、活用方法などについて説明がありました

9月定例会：前年度の予算が適切に使われたか主に審議します

先進地視察：先進的な取組をしている自治体へ視察に行きました
（令和7年は旧山古志村と飯豊町）

12月定例会：補正予算について主に審議します
人件費について人事院勧告が出ます
次年度の予算について要求・提案があれば提出します

各事業の行政委員会：担当委員会に出席し、事業について協議します



3月定例会：次年度の予算について主に審議します

総務建経常任委員会

宿泊税交付金基金条例案

問 宿泊税交付金基金条例案の内容は。

答 県の宿泊税導入に伴う交付金を観光振興の財源として積み立てる基金。本年度は63万7千円の交付予定で、1・2年目は積立、3年目に活用、未活用なら県へ返還。使途は予算化の段階で議会の審議を経る。



一般会計補正予算(第2号)

総務課関係

問 防災行政無線の機能拡張の内容は。

答 放送を聞き逃しても録音され、ウェブ上で音声再生と文字で確認で



きる仕組み(工事142万円)。村外の家族も確認できる。委員からケーブルテレビ連携など充実を求める声があった。法定検査委託料27万2千円も計上。

問 消防団活動服が50着分更新される。その内容は。

答 宝くじ助成を活用して計画的に更新するもの。既存の服が使えなくなるものではない。

問 地方債限度額が増額した理由は。

答 緊急防災・減災事業債の増額は無線設備140万円とドローン備品70万円に充当。過疎債は住宅事業で90万円増、小学校費130万円は国の決定による財源構成の変更。

振興課関係

問 経営発展支援事業の内容は。

答 認定農業者1経営体のスピードスプレーヤー1台と雨除けハウス3棟の設置を支援(750万円)するもの。

問 住宅建設費の内容は。

答 村営住宅上手団地のフェンス設置工事126万5千円(過疎債90万円充当)を計上するもの。

問 最適土地利用総合対策事業の内容は。

答 令和7年度の話し合いの合意を具現化。意向調査、担い手集約へ向け



た基盤整備の調査・設計、農地保全の実証の3本柱。樹園地転換の可否を専門業者が調査(250万円)。雲根地区で遊休農地の粗放的利用を継続実証。

村営バス特別会計補正予算(第2号)

デマンド予約対応中



■オペレーター人件費(兼務→専任へ)
■期末手当: 本特別会計から支出へ切り替え

※イラストは運用イメージです。

問 人件費補正の内容は。

答 デマンド予約オペレーターが5月に退職し、現在は兼務職員が対応。専任に位置づけ、6月から特別会計で支出する。

問 修繕料69万9千円の内容は。

答 老朽化し利用のない草尾口・旧大日向の2バス停を撤去する経費。

6月定例会 こんなことが決まりました

防災・消防 | ドローンを防災に活用(団員の資格取得 439万3千円/全額国費 実機2台 71万1千円/緊急防災・減災事業債70万円)

国のモデル事業として、消防団員8名が二等無人航空機操縦士の資格取得に挑戦します。目視外飛行が可能になり、行方不明者の捜索や災害時の被害把握に役立てます。あわせて村民向けの体験会も10回開き、村のパイロットを育てます。育成事業ではドローン実機2台も購入します。



※イラストは運用イメージです。

産業・特産品 | 山村活性化対策事業(2年目) (事業総額 1,035万8千円/うち国費 1,000万円)

3か年計画の2年目です。①新商品開発と郷土料理の改良、②竹林資源の食・工芸品への活用と環境保全、③トレッキングや和太鼓と食を組み合わせた旅行パックの試行、④首都圏でのPRによるブランド化と販路拡大、の4本柱で進めます。



※イラストは運用イメージです。

広域連携 | 麻績村との道の駅コラボ(元気づくり支援金事業 379万9千円)

麻績村と連携し、両村の直売所を拠点に農産物の販売・PRを強化します。共通ロゴや産地シール、1,000円以上の購入レシートを対象とした来訪キャンペーン、両村の特産・名所を題材にしたトレーディングカード(計1万枚)の配布、合同PR動画の制作などに取り組みます。



※イラストは運用イメージです。

道の駅 | 道の駅に仮設駐車場を整備(工事請負費 200万円)

来訪者の増加に対応するため、道の駅いくつかの郷に仮設の駐車場を整備します。約1,000平方メートルに20台以上の駐車車を想定しています。用地の一時転用のため、農業委員会と相談しながら手続きを進めます。



社会文教常任委員会

一般会計補正予算（第2号）

教育委員会関係

問 部活動の地域展開に伴うコーディネーターの役割は。

答 学校と教育委員会、外部指導員との連絡調整をする。

問 部活動の外部指導員の人数と地域移行開始時期は。

答 バドミントン部は7月から土曜日に移行、9月から平日もB&G海洋センターで行う予定で、講師3人の謝礼を計上している。

吹奏楽部は赤とんぼフェスティバル終了後くらいからB&G海洋センターへ移行する予定で、地域展開後の講師謝礼1人分を見込んでいます。

問 新たな地域クラブを募集するか。

答 現在は中学校の部活を地域に移行するので、バドミントン部と吹奏楽部を予定。コーディネーターと相談し、龍昇太鼓や絵画クラブなど計画。中学生がやりたいことに沿った内容にしたい。

問 現在の公民館活動と地域クラブはゆくゆく連携をしていくのか。

答 公民館教室を、地域の皆さんが会費を払ってクラブ化していくのが一番最終的な目標と考えている。

問 県の給食費負担軽減交付金を、財源構成の変更ではなく上乗せをして、有機米など地域農産物の買取価格を見直せないか。

答 物価高騰を踏まえ、既に給食費補助金を50万円増額している。予算の範囲で検討は可能。生産者から価格の提案をしていただき、協議をしていく。



給食の有機米稲刈り体験の様子

住民課関係

問 県振興協会基金交付金76万1千円とは。

答 宝くじ（サマージャンボ等）の収益金の一部が、長野県振興協会を通じて毎年自治体に配分されるもので、

清掃総務費に充当される

健康福祉課関係

問 障がい者自立支援で加算対象になった、生活相談の対象となる方は。

答 手帳をお持ちの方と村が認めた対象者。

問 加算が付くことにより、障がい福祉従事者の方にどれだけプラスになるか。

答 国の試算で月額1人1万円程度。

請願・陳情

さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書について

子ども一人ひとりに寄り添った指導・支援を行うため、予算確保と国庫負担制度の堅持・拡充は必要であると、全員賛成で国に意見書を提出すべきと決定。



社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情書について

特定地域における介護職員の「人員配置基準の緩和」は1人あたりの仕事量を増やすことになるのでは、給付から地域支援事業になると、居住地によって受けられるサービスが変わるのでは、という懸念を共有し、全員賛成で国に意見書を出すべきと決定。



3月定例会より継続審議となっていた陳情

mRNA（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書について

レプリコンワクチンが危険ではないかという、製造販売している会社社員有志が書いた本の紹介等がされたが、mRNAワクチンと健康被害の因果関係がはっきりしないという理由で、全員賛成で継続審議と決定。（2回継続審議となったため廃案）

6月定例会 こんなことが決まりました

補正予算 障がい者自立支援システム改修委託料 113万1千円
(うち1/2の56万5千円は国の身体障がい者保護費負担金)

障がい者自立支援の生活相談について、条件を満たせば加算の対象になったことによるシステム改修委託料です。



補正予算
なのはな火災報知器電池交換 7万8千円

3月の消防点検で指摘を受け、電池交換をします。

補正予算
中学校の時計設備修繕 42万9千円

5月13日の落雷で時計が2日間止まってしまったため、修繕をします。

補正予算 地域展開コーディネーター費とバドミントン・吹奏楽講師謝礼 142万円
(うち県の文化振興補助金103万円、スポーツ振興費補助金37万6千円)

中学校部活動地域展開に伴い、コーディネーターを採用。
また、地域展開後、バドミントンと吹奏楽を指導する外部講師に支払う謝礼を計上します。



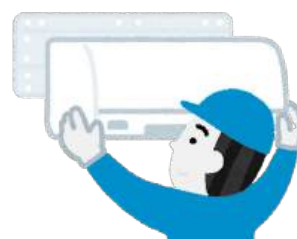
補正予算 吹奏楽・楽器置き場 122万8000円
(内訳はアルミパーテーション86万9000円、棚35万9000円)

地域展開後、B&G海洋センターで吹奏楽を行います。
そのための楽器置き場を、海洋センター2階に設置します。



工事請負契約 生坂小学校省エネ化 6545万円
藤沢商会・竹内工務店・原田建築工房共同企業体
生坂中学校省エネ化 1億 890万円
松本土建株式会社

教室（中学校は体育館も）の電灯をLED化し、省エネエアコンや給湯器を設置します。工事は夏休み中等、授業がない時に行います。



令和8年6月定例会 議案等の審査結果

全員賛成した議案		審議結果
報告	専決処分の承認を求めることについて（生坂村税条例の一部を改正する条例） 個人住民税、軽自動車税、固定資産税など、法改正に伴い申告事務の適正化を図るための改正	承認
	専決処分の承認を求めることについて（生坂村国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 法改正により国保税の上限や軽減基準を見直し、子育て支援納付金の負担を減らす仕組みを加える改正	承認
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村一般会計補正予算【第9号】） 交付税等収入額と事業額等が確定したことによる補正で、歳入歳出に1億304万5千円を追加するもの	承認
	令和7年度生坂村一般会計繰越明許費について 脱炭素地域づくり推進事業等、6事業の費用1億6199万6千円を令和8年に繰越すもの	承認
	専決処分の承認を求めることについて（令和8年度生坂村一般会計補正予算【第1号】） 村営バス特別会計に222万円を繰出すもので、歳入歳出それぞれ222万円を追加するもの	承認
	専決処分の承認を求めることについて（令和8年度生坂村営バス特別会計補正予算【第1号】） 村営バスのエンジンを載せ替えるため、村から繰入れた222万円を修繕料として計上するもの	承認
	生坂村宿泊税交付金基金条例案 県から交付される宿泊税を適切に管理・活用するために基金を設置するもの	可決
	生坂村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案 法改正により発行可能となった、マイナンバー機能付き在留カード等を追加する改正	可決
予算案	令和8年度生坂村一般会計補正予算【第2号】 歳入歳出それぞれ5362万5千円を追加し、総額37億484万5千円とするもの → P4～7へ	可決
	令和8年度生坂村営バス特別会計補正予算【第2号】 歳入歳出それぞれ167万5千円を追加し、総額5849万5千円とするもの → P4へ	可決
請願	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書 提出者：松塩筑教育関係七団体連絡協議会 議長：田中信宇 紹介議員：山本吉人	可決
陳情	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情 提出者：信州ケア社会を考える会 代表：小林純子	可決
追加議案	建設工事請負契約の締結について（生坂村脱炭素先行地域事業 生坂小学校省エネ化改修工事） 契約金額 6545万円 藤沢商会・生坂竹内工務店・原田建築工房共同企業体	可決
	建設工事請負契約の締結について（生坂村脱炭素先行地域事業 生坂中学校省エネ化改修工事） 契約金額 1億890万円 松本土建株式会社	可決
	生坂村固定資産評価審査委員会委員の選任について 小林寿臣 新規 任期3年間	可決
	生坂村教育委員会委員の任命について 瀧澤早苗 継続 任期4年間	可決
	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について 社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書の提出について	提出

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

賛否の分かれた議案		結果	進藤	望月	島	山本	太田	平田	市川	藤澤
発議	学習指導要領の「はどめ規定」を見直し、子どもを尊重する包括的性教育の推進を求める意見書の提出について	否決	×	×	○	○	×	×	○	※
	提案者：島幸恵 賛同者：山本吉人									

「はどめ規定」とは…「人の受精の過程」や「妊娠の経過」を取り扱わないとするもの。

包括的性教育とは…自分と他者の尊重を学び、心身の変化や性を正しく理解する人権教育。

反対討論

趣旨そのものを否定せず、文言や提出先、根拠資料を含む議案全体について、議会意思として国へ提出する妥当性と熟度が現時点では十分でないと判断し、反対した。

賛成討論

もっと性への理解や命の大切さを学ぶ機会を、という声がある。科学的根拠に基づいた性教育、また自分も相手も尊重する、人権教育＝包括的性教育の推進は大切。

令和8年7月臨時議会 全員賛成した議案

審議結果

予算案	令和8年度生坂村一般会計補正予算【第3号】	可決
	物価高騰対応重点支援交付金を追加で受け、272万7000円でいくさかマル得商品券を500冊増刷 197万円で北平地区の消火栓3箇所更新	

地方創生の先行き ― 地域未来戦略とともに ―

令和8年度町村議会議長・副議長研修会が5月26日に開催され3つの課題について講演がありました。

1 つめは、地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―

2 つめは人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践

3 つめは、男女共同参画で地域を元気に―人口減少社会を生き抜く方策についてお話を聞きました。

今回はその中でも生坂村の未来に関係する内容を紹介いたします。

地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―

地方創生2・0の「基本的な考え方」(抜粋) 地方創生を10年前に開始して以降、「まち・ひと・しごと創生法」の制定、政府関係機関の地方移転や地方創生の交付金などにより、全国各地で地方創生の取り組みが行われ、様々な好事例が生まれたことは大きな成果である。一方、こうした好事例が次々に「普遍化」することなく、人口減少や、東京圏への一極集中の流れを変えるまでには至らなかった。それはなぜか。自治体は、国・都道府県・市区町村という「縦」のつながりだけでなく、他の町といった「横」



の関係を改めて意識することをしていないことではないか。また「女性や若者にも選ばれる地域」となるため、自ら考え、行動を起こすことが必要ではないか。(中略)これからは、価値観が多様化する中、多様な地域・コミュニティの存在、一人ひとりが自分の夢を目指し、「楽しい」と思える地方創生こそが求められている。地方創生に魔法はない。学び、考え、経験を積み、議論を重ね、育つ。育てる。未来は若者たちのもの。人材育成こそが未来の投資。

生坂村の未来は若者たちのもの。その若者たちを育てるのは私たち大人。

これからの生坂村議会議員を育てることも議員の役目と感じました。

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって所見を求め、疑義を質すこと、あるいは政策を提言することです。QRコードから動画視聴もできます！

答弁者 **村**…村長 **副**…副村長 **総**…総務課長 **振**…振興課長 **住**…住民課長
健…健康福祉課長 **教**…教育長 **次**…教育次長

●進藤 彩議員

- ①「鳥獣駆除」からジビエという観光資源としての活用について
- ②地域学習におけるジビエ活用、食育・命の教育について

●山本吉人議員

- ①各地で頻繁に出没する熊対策について

●望月一将議員

- ①過疎地域専用AI「いくさかOS」構想と村独自AI基盤の構築について
- ②脱炭素事業の持続可能性について
- ③外国人旅行者の受け入れについて

●島 幸恵議員

- ①脱炭素事業について
- ②香害について

●平田勝章議員

- ①農業体験ツアーの課題と今後の方向性について
- ②地震後の被害の対応について

●太田 譲議員

- ①上水道事業について

●市川寿明議員

- ①児童クラブに遊び場拡充を
- ②高齢者らへ生活支援を

問 捕獲数は令和2年度の113頭から令和7年度には352頭と約3倍に増加している。捕獲した鳥獣を地域資源として活用し、ジビエによる地域振興や観光振興につなげていく考えは。

振 全国では捕獲鳥獣をジビエとして活用し、観光振興や特産品づくりにつなげる取組が進んでいる。本村でも農業体験ツアーやアウトドア活動など自然環境を生かした取組を進めており、体験型観光との連携の可能性はある。一方、食肉処理施設の整備には安定供給や衛生管理、費用対効果などの課題がある。今後は「創造の森構想」や近隣自治体の事例を参考にしながら活用方法を調査していく。

問 捕獲頭数が増加する中、捕獲個体の利活用に向けた処理体制の整備や、広域連携を含めた今後の検討状況は。

村 近隣自治体では処理施設の整備に先立ち、冷蔵保管施設を設置して民間事業者を引き渡す仕組みづくりを進めている例がある。本村では移



進藤彩議員

捕獲鳥獣のジビエ活用と処理体制について
 振興課長 近隣自治体の事例を参考に調査研究する



動式解体処理車（ジビエカー）の導入予定はなく、捕獲数の確保や運営体制、採算性が課題として挙げられる。民間事業者との連携や広域連携の可能性も含め、費用対効果や持続可能性を検証しながら、本村に適した手法を調査・研究していく。

問 村の現状や課題を理解するきっかけとして、学校給食でのジビエ活用や、鳥獣被害、命の循環について学ぶ機会を地域学習や食育の中で取り入れる考えは。

教 村では「いくさか学」として地域学習を進めており、鳥獣被害やジビエは地域課題を学ぶ題材として有用であると捉えている。命をいただくことや農業を守る人々の思いを学ぶことは、子どもたちの理解を深める機会になる。一方、学習テーマは子どもたちが主体的に決める仕組みであり、今年度からの導入は難しい状況にある。今後は学校と相談しながら、来年度以降の「いくさか学」の題材として活用できるか検討していく。



山本吉人議員

各地で頻繁に出没する熊対策について
振興課長 各自治体の対応・動向を
見ながら適切な対策をしていきたい



問 熊対策の一つとして熊よけ鈴が有効と考える。生坂村では小中学生に対し熊よけ鈴を配布している。朝夕の散歩、農作業など一般住民にも熊よけ鈴が必要と考える。住民への熊よけ鈴の配布はできないか。

振 熊対策の一つとして熊よけ鈴は有効とは考えている。村としては、熊対策の方法、費用対効果など研究及び検討をしていきたい。

問 登山者等に熊よけスプレートの貸出が必要と考えるが。

振 熊よけスプレートの効果については認識している。使用方法等取り扱いに注意するべきことも多くある。他の自治体の動向も見ながら研究検討していきたい。

問 村内には熊の餌の対象になる柿の木などが沢山ある。管理されている物もあれば、全く管理されていない物もある。特に管理されていない物は熊の餌の対象になりやすいと考える。伐採などの対策が必要では。

振 柿の木などの実は熊の餌になりやすいと考えている。村としては、所有者・各区・各常会と協議しながら

ら対応について検討していきたい。

問 見通しのよい環境整備をすることで熊の出没を少なく出来ると考える。数などにならないよう定期的な草刈りが必要では。

振 見通しのよい環境整備をすることが熊の出没を少なく出来る有効な手段であり、定期的に草刈り等実施している。ゾーニング(棲み分け)についても研究検討していきたい。

問 熊は明るい場所は避けるため外灯などを増やせないか。(特に住宅が少ない場所)

村 やまなみ荘の駐車場に使用している太陽光の外灯であれば、地区要望があれば対応は可能。

ゾーニングとは…「人が暮らす場所」と「熊が暮らす場所」を分けて、おたがいが近づきすぎないようにするしくみです。その間に、安全なすき間(緩衝帯)をつくります。



望月一将議員

補助金終了後も脱炭素事業が自走できる
か、工程表と情報開示を求める
村長 経営基盤が整った段階で作成し、
令和10年までに示したい



問 過疎債の借入や設備更新費、各事業の収支見通しを、いつどの資料で議会へ示すか提示時期を問う。

副 脱炭素分の過疎債は約20億円、償還は令和22年度頃まで。7割が交付税措置され実質3割程度。小水力は売電を見込むが、マイクログリッドや木質バイオマスは収支未確定。更新費は変動が大きく具体額は示せないが、検討状況を議会へ共有する。

問 蓄電池を持てない高齢世帯が、停電時にかえって取り残される構造は、事業の理念と矛盾しないか。

副 75歳未満は連帯保証人を立てれば、蓄電池のみでも設置できる。75歳以上は(株)いくさかてらすとして導入予定はないが、村も連携し対応策を研究する。



問 高齢化率は44%、人口は限界集落化も懸念される。村独自のAI基盤の上に農業・福祉・防災・移住・医療相談などのアプリを載せる「い

くさかOS」を提案。区の連絡をAIが全戸へ電話で代行し、独居高齢者の通院や買物の相談に乗り、移住者に古い集落の姿を伝える等の活用が考えられる。追加予算をほぼかけず、公開情報のみ小さな実証から、住民同意を前提に始める考えは。

村 DX推進の方向として興味深いのが、個人情報保護や運用体制、構築費用などの課題も多い。住民の理解と信頼を前提に、小規模な実証を積み重ねたい。現時点で具体的な計画はない。

問 初期費用ほぼゼロで英語の情報発信を行い、外国人旅行者受入を後押ししては。

村 本村に適した発信のあり方を研究したい。





島幸恵議員

（株）いくさかてらす融資に村の信用が織り込まれているのではない
副村長 村の信用力を前提とした融資ではない



問 金融機関は担保も債務保証もなくなぜいくさかてらすに融資したか。

副 事業計画・収支計画を基に金融機関が審査したものの。キャッシュフロー表は受領したが、融資の前提条件を示す文書は受け取っていない。

意見 筆頭株主として、金融機関の判断基準・前提条件は文書で確認し、村民への説明責任を果たすべき。

問 PPA事業の借入総額、返済計画、更新費用の積立額はどうか。

副 （株）いくさかてらすの借入総額は約5億円。返済は2045年までで、多い年は約3,900万円。更新費用は段階的に積み立て、累計約5億5,000万円を確保する計画。

問 更新費は一般に総設備費の5〜7割、撤去費も数億円かかる可能性があり、積立額は不足ではないか。

副 耐用年数以上の長期使用を前提に、維持管理を徹底する計画で試算。

問 設備使用料、維持管理費、過疎債負担、破綻時対応など、村と会社の契約協議はどうか。

村 マイクログリッドは保守・運用規定を整備中で、整備後に管理委託

契約等を協議する。小水力発電も条件が整い次第協議。破綻時対応は未協議で、過疎債の実質負担も未決定。

意見 契約内容を早期に整理し、議会と村民に明確に示すべき。

問 EVバスリース契約のリスクと長期コスト見通しは。

総 修繕には交付税措置が8割見込めるが、修繕費・バッテリー交換費・更新費などの試算が必要。中途解約時は残存負担が発生し、補助金返還の可能性もある。

問 公共施設は誰もが安心して利用できる場所であるべきと考える。公共施設での人工香料使用と「香害」への認識は。

総 化学物質過敏症への配慮が必要と認識し、人工香料使用の実態把握、香料自粛の周知、配慮策の検討を進める。

次 教育施設では自然由来や匂いの少ない洗剤を使用し、職員も日頃から香りに配慮している。

意見 公共施設では無香料・自然由来香料製品の使用を促し、香害へのさらなる啓発をしていただきたい。



平田勝章議員

農業体験ツアーの持続可能な体制整備を
村長 関係団体と連携しながら無理のない受入れ態勢を考えたい



問 農業体験ツアーは高齢化で維持管理が深刻化している。今後の受入れ体制整備についての考えは。

村 農業公社や関係団体と連携しながら無理のない受入れ体制の維持に努めたい。維持管理は大好き隊などによる代行や指導者育成を考えたい。

問 近隣町村から受け入れ、地元子どもたちとの体験ツアーを行っては。

振 共同学習という面では意義のある取り組みだが、保護者の理解や協力、安全面など様々な課題がある。学校と学習計画の調整も必要であり今後研究、検討していきたい。

問 松本山雅の選手を招き、田植えや稲刈りなどの体験ツアーはどうか。

振 費用や日程調整、継続的な実施体制などの課題があるが、連携の可能性を探りながら研究していきたい。

地震後の被害の対応について

問 地震により公共の建物が壊れた場合の対応は。

総 情報収集と被害状況の確認を行うこと共に、利用者の安全確認、状況により立入り制限や使用停止などの措

置を取る。

問 図上訓練や実践に合った防災訓練が必要と思うが。

総 村政懇談会でも意見があり、防災訓練を見直していきたい。また図上訓練は以前実施した。今年度は、ある程度実態に即した訓練にしたいと考えている。

問 毎年4月に新役員が決まり、防災組織表が作られる。区長、常会長はどう動くか理解出来ないのが現状。区長、常会長用に防災マニュアル作成を検討してはどうか。

総 段階的な対応マニュアルについては自助・共助・公助それぞれの役割、災害時の手順等、住民の方が分かりやすい方法について研究したい。

問 屋根の瓦などが壊れた場合、応急措置としてブルーシート配布等当村措置対応は。また見舞金の有無は。

総 被害に遭われたら役場に連絡をいたたき、被害状況や必要に応じて対応する。応急措置としてブルーシートの配布等は被害状況を踏まえながら、個別に判断する。見舞金等は支援制度を基本として対応するようになる。



議員 田太

状況に応じて更新工事の見直しは行つか
副村長 水道有収率会議で、調査や漏水
状況に応じて随時見直しを行い進める



問 料金収入と維持費について、現在の状況と今後の見通しは。

振 給水人口や料金収入の減少が見込まれる一方、施設の老朽化や物価上昇に伴う修繕費・維持管理費の増加が課題。経営戦略に基づき経常収支比率100%以上の維持や有収率向上、料金回収率改善に取組み、持続可能な水道事業運営を目指す。

問 令和3年度から始まっている更新工事の進捗状況は。

振 老朽化の進んだ区間から優先的に整備を実施している。今後10年間で約6億4千万円の事業費を見込み、施設の重要度や老朽化状況を踏まえ更新を進める。

問 予測出来ない漏水事故もある。その原因は把握できているか。

振 漏水事故の主な原因は、老朽化した送配水管や給水管の劣化、継手部分の損傷、冬季の凍結による破損など。

提案 事故が多発する箇所が確認出来た場合は原因を究明し、優先的に工事を行い、着実な工事を進め安定供給に努めてほしい。

問 R11年度から下水道の更新工事も計画されている。管理体制について考えはあるか。

村 下水道施設は供用開始から相当の年数が経過しており、老朽化への対応が重要な課題となっている。計画される更新工事に向け、施設の状況把握や事業量の精査、財源確保を進めるとともに、職員体制の強化を図りながら対応していく。また、上水道との一体的な維持管理を基本に、専門事業者の技術支援や設計管理業務も活用し、効率的かつ確実な事業執行に努める。

問 災害時の給水体制は現状で十分と考えるか。

村 本村は、激甚化する自然災害や大規模断水に備え、応急給水資機材の整備や広域的な応援体制の構築、職員・指定業者との連絡体制の確認を進めている。現状の体制に満足せず、今年度は移動浄水器を用いた実戦的な防災訓練を実施するなど継続的な体制の見直しを図り、迅速かつ確実な給水活動へ向けて防災体制を強化する。



議員 市川寿明

児童クラブの遊び場拡充を
教育長 提案場所、子どもたちが安全
に活動できるか等検討したい



問 児童クラブにおける外遊び実態に手狭さや物足りなさを感じる。遊び場環境に課題を感じていないか。

教 現在の環境は概ね良好と認識。

問 子どもの健全な発育やリフレッシュにおいて大事な、土に接して遊べる広さが充分か。アスファルトは夏場暑く遮熱用舗装もない。コンクリート板上への人工芝でなく、自然の公園的な場所確保は可能では。

教 公園的機能を有する施設となると、その利用者対象範囲、管理の問題などいくつかの課題があり十分な検討が必要。

問 候補地(例、『なのはな』北側の畑の一部)の模索と、用地確保の上での整備や安全管理の運用方法など父兄らと一体で研究協議する考えは。

教 提案の場所や体制・環境、子どもたちに安全な活動ができるかなど諸課題の検討をしたい。



高齢者等への生活支援を

問 脱炭素事業での高効率機器導入補助金の制度では、利用者個人への対象機種の数や補助総額に上限がなく、複数設備の導入可能な実態。資金に余裕がある層には容易に機器の導入ができる反面、困難な世帯は躊躇するのが現実。そのため住民間の不公平感を生むと懸念されるが、格差的な問題の認識と配慮策はあるか。

村 指摘の問題の可能性も認識をしている。一方、住民負担の軽減を図りつつ、村内排出のCO2の削減につなげ、地域全体に効果をもたらす事業であり、導入した世帯だけでなく村全体に還元される効果がある。

問 物価高騰が続く昨今、導入を控える世帯に配慮も連動し、特に熱中症リスクが高い高齢者、障害者および子育て世帯などに、夏季のエアコンの電気代を補助する村独自の生活支援を。

村 国の補正予算の動向や対象者の範囲、公平性の確保等を考慮しながら支援のあり方は研究をしたい。

～議員の日常～

議会だよりモニターさんより、議員の人となりが分かる特集を！ とのご意見をいただきました。議員の趣味やストレス解消法、生活などからコメントしました。



しんどう あや
1番 進藤 彩

心に浮かんだ世界観を描いています。見てくれた人が楽しい気持ちになってくれたら嬉しいです。



もちづきかずまさ
2番 望月 一将

趣味：ギターを弾くこと。下手の横好き、いや、ただの下手。それでも弾けば、頭の中は空っぽになります。



しま ゆきえ
3番 島 幸恵

鹿や猪の被害があちこちにあるので、罾をかけないと！と思っています。夏は解体時のハ工が困ります。



やまもとよしと
4番 山本 吉人

還暦になりましたが、相変わらずガンプラなどロボットプラモデルが大好きです。積みプラが増えています。



ふじさわ さちえ
5番 藤澤 幸恵

筋トレを始めました。1年後には、10キロ減量した私を見かけることになるでしょう！



おおた ゆずる
6番 太田 譲

趣味のキャンプは最近行けていませんが、子どもたちへのサッカー指導が私の元氣とストレス発散の源です。



ひらた かつあき
7番 平田 勝章

ストレス解消法はお風呂で詩吟を吟ずること。日頃は農業をしながら、地域活動を楽しんでいる。



いちかわとしあき
8番 市川 壽明

’80年、哲学者 高田求氏の語句「情熱とは持続する力」に魅せられ座右の銘に。今、俳句の評が関心事に。

議 会 日 誌

(主なものを掲載)

5月

- 8日 東筑摩郡議会議長会第1回臨時総会(松本市)
観光協会総会
- 11日 大町ダム等再編事業促進期成同盟会総会(大町市)
- 12日 安曇野防犯協会監査
- 18日 議会全員協議会
- 19日 生坂村特定地域づくり事業協同組合通常総会
- 20日 篠ノ井線松本地域活性化協議会総会(安曇野市)
- 21日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 22日 生坂村商工会通常総会
- 25日 議会運営委員会 議会改革検討会
- 26日 全国議長会議長・副議長研修会(東京都)
- 28日 例月出納検査
- 29日 安曇野防犯協会連合会理事会及び総会(安曇野市)
- 30日 小学校運動会

6月

- 1日 塩筑地域包括医療協議会監査
- 3日 議会だより編集委員会
- 4日 議会全員協議会
- 5日 戦没者追悼式遺族会総会
- 6日 ふるさと信州のつどい(東京都)
- 10日 6月定例会・開会
- 11日 本会議・一般質問
- 12日 総務建経常任委員会
- 15日 社会文教常任委員会

- 17日 6月定例会・閉会 議会全員協議会 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 23日 犀川(生坂・大町・長野)改修期成同盟会及び一般国道
19号(生坂・大町・長野)整備促進期成同盟会監査
- 24日 地域支え合い推進会議
- 25日 議会だより編集委員会
- 26日 池坂やまびこ会役員会 社会福祉協議会評議員会
- 27日 生坂村小水力発電所建設工事 安全祈願祭及び起工式
- 29日 例月出納検査 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
赤とんぼフェスティバル実行委員会・区長合同会議
- 30日 (公財)生坂村農業公社評議員会
議会だより編集委員会 福祉センター運営委員会

7月

- 8日 塩筑地域包括医療協議会理事会及び総会(松本市)
- 9日 議会全員協議会・臨時議会
- 10日 議会だより編集委員会
東筑摩郡議会議長会第2回臨時総会(松本市)
- 13日 長野県町村議会議員研修会(松本市)
松本広域連合第1回臨時会(松本市)
- 15日 議会だより編集委員会
地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟
会(安曇野市)
- 21日 犀川(生坂・大町・長野間)改修期成同盟会総会(長野市)
一般国道19号(生坂・大町・長野間)整備促進期成同盟
会総会(長野市)
- 22日 いくさかマル得商品券スーパープレミアム販売開始セレ
モニー

表紙写真について

小立野地区の花桃と山桃

小立野地区の犀川沿いに並ぶ花桃と山桃は、地域の春を彩る美しい風景として親しまれています。

植樹を始めたのは久保田茂樹さんです。散歩を楽しむ人たちに喜んでもらいたいとの思いから、少しずつ木を植え始めました。その後、「まめつてえ会」の仲間たちも協力し、花桃と山桃の植樹を進めてきました。

現在は久保田さんと赤羽勲さんが中心となり、草刈りや剪定などの手入れを続けています。長年の取り組みによって木々は大きく育ち、春には見事な花が咲き誇るようになりました。

お二人は今も未来の景観を見据え、新たな木を植えながら、この場所を次の世代へつないでいます。

◆議会だよりモニターを募集しています。感想もお寄せください！

メール 193kagikai@gmail.com

電話 69-3111(代表)

編集後記

今月号の表紙は、春に犀川のほとりを彩った小立野地区の花桃です。鮮やかに咲き誇る風景は多くの人の目を惹きつけてくれました。こうした美しい景観は決して当たり前のものではなく、日頃から草刈りや手入れを続け、心を込めて守り育ててくださる方々の努力によって支えられています。

地域の魅力は、豊かな自然だけでなく、それを大切にする人の存在によって生まれるものだと感じます。議会もまた、村の未来を見据えながら様々な課題について議論を重ねています。この議会だよりが、村のことを考えるきっかけとなり、皆さまと地域の未来を共有する一助となれば幸いです。

編集・発行責任者

議長 藤澤 幸恵

編集委員

委員長 島 幸恵
委員 山本 吉人

望月 一将
進藤 彩

夢の竹取物語

村のあちこちで広がっている、手入れの届かない竹林。そこに自ら手を入れ、人が集う里山へと変えはじめたのは、村民でつくる「生坂ハチクの会」だ。整備し、商品にし、人を呼ぶ——行政が動かすのではなく、住民が自発的に進めるこの取り組みは、村の事業の新しいかたちを示している。

整備前①



整備前②



うっそうと茂り、倒れた竹も重なって人が入れなかった竹林。

整備後



育てる竹を選んで間伐し、光が差し込む明るい竹林へ。会はこのを「夢の竹取物語」と名付けた。

◆ 村内団体の手で進む竹林整備 ◆

生坂ハチクの会は、20年ほど前から村産のタケノコ加工に取り組む団体だ。加工品は道の駅でも好評で、すでに事業として手応えを得ている。その会が今年、村民会館そばの竹林整備に乗り出した。当初予定の3千平方メートルは予算の都合で昨年度1千平方メートルにとどまり、残りは今年度に着手する。延べ作業時間は約305時間。会の呼びかけには村内の有志団体も加わった。

伐り出した竹は竹細工に活かすほか、タケノコ狩りや薪割りなど、竹林を舞台にした体験企画も育てている。整備から商品化、体験までを自分たちの手で担うのが、この取り組みの特徴だ。



チェーンソーや粉砕機も使い、会のメンバーと有志が協力して進めた整備作業。

活動する人の声

平林 敏生さん
生坂ハチクの会 会長

加工品の原料を、もっと自分たちで確保したい。竹は割れやすいので、京都・嵐山で職人に乾燥の仕組みを教わり、自分で乾燥機を作りました。いい竹で竹とんぼ大会や、ゆくゆくは楽器も作ってみたいですね。

志水 学さん
生坂ハチクの会 会員

竹林は長い目で育てたい。道の駅とコラボして収穫体験などの企画も担い、来た人がまた訪れたいような場所にしたい。整備した竹林が商品や人のつながりを生む、その流れを仲間と広げていきたい。

◆ これからの竹林整備 —— 整備はゴールではなく始まり ◆

整備はゴールではなく、始まり。同会は「夢の竹取物語」を完成させ、整備エリアを広げながら、村内外から関わる人を増やそうと計画する。

一方で、課題も見えている。本年度(令和8年度)の壁が、人件費の確保と整備対象の竹林選定だ。竹林整備は多くの人手を要し、その人件費の捻出がネックになる。昨年度(令和7年度)の整備予算は、人件費・燃料費・機材費で50万円余り。「整備する竹林を選び、人件費を確保するうえで、山村活性化対策事業は、ハチクの会にとっても、放置された竹林にとっても命綱だ」と平林さんは語る。

整備→活用→商品→人の循環を村と団体がともに育て、3年目には、この取り組みの自走をめざす。



タケノコ狩りや薪割りを楽しむイベント。整備した竹林に、世代を超えて人が集う。



道の駅に並ぶ「ハチク」。整備した竹林が、村の特産品を生んでいる。